

令和7年 網走市議会  
総務経済委員会 会議録  
令和7年8月25日（月曜日）

○日時 令和7年8月25日 午前10時00分開会

○場所 議場

○議件

1. 網走市強靱化計画の改定について

○出席委員（7名）

委員長	石垣直樹
委員	井戸達也
	小田部照
	立崎聡一
	深津晴江
	村椿敏章
	山田庫司郎

○欠席委員（1名） 澤谷淳子

○議長 松浦敏司

○傍聴議員（3名） 里見哲也  
永本浩子  
古田純也

○説明者

副市長	後藤利博
建設港湾部長	立花学
都市整備課長	村上雅彦

○事務局職員

事務局長	岩尾弘敏
次長	本橋洋樹
総務議事係長	和田亮
総務議事係	平間公稀
	山口諒

午前10時00分開会

○石垣直樹委員長 ただいまから、総務経済委員会を開催いたします。

初めに本日の委員会ですが、澤谷委員から欠席の届出がありましたので御報告いたします。

今日は、所管事務調査について協議します。それでは、議件1 網走市強靱化計画の改定について説明

を求めます。

○村上雅彦都市整備課長 網走市強靱化計画の案について御説明をさせていただきます。これは地域計画となっております。それでは強靱化計画の概要版を御覧ください。

目的や背景といたしまして、国土強靱化計画につきましては、国において平成25年12月、強くしなやかな国民生活の実現を図るため、防災・減災等に資する国土強靱化基本法が施行されました。この基本法に基づきまして、平成26年に国土強靱化基本計画が策定され、同年7月、その基本計画が閣議決定されました。また、北海道においても北海道強靱化計画が平成27年3月に策定され、現在まで修正や改定が行われてきております。

この強靱化基本計画では、国民生活や国の経済活動に甚大な影響を及ぼす可能性のある大規模自然災害のリスク低減に向けた取組が進められてきたところでございます。これらの計画において全国的な豪雨災害の激甚化、頻発化、避難施設における感染症の蔓延、生活環境の悪化による災害関連死の増加など、新たなリスクに対応する改定が行われてきたところでございます。

網走市におきましては、国や北海道の動向を見ながら、令和2年3月に網走市強靱化計画を策定しており、計画から5年が経過したことを踏まえ、今回改定を行おうとするものでございます。

計画の位置づけとしまして、本計画は基本法に基づき策定を行っております。国土強靱化地域計画とは、あらゆる大規模災害、大規模自然災害等に備えるため、事前防災減災と迅速な復旧復興に資する施策をまちづくり施策ですとか、産業施策も含めた総合的な取組としてまとめた計画となっております。網走市の第6期、網走市総合計画やほかの分野別計画とも連携をしております。

また重点的、分野横断的に推進する計画といたしましては、網走市の地域防災計画、また産業、医療、エネルギー、まちづくり、交通等の国土強靱化に関する部分の施策と連携もしております。特に関わりの強い地域防災計画との関連性を図示したものを掲載させていただいております。

続きまして、網走市の強靱化の目標といたしまし

ては、本市のみならず国家的な課題として取り組む必要があります。

まず初めに、国の基本計画に掲げる四つの基本目標、一つ目、人命の保護。二つ目、国家社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること。三つ目、国民の財産及び公共施設の被害を最小化すること。四つ目、迅速な復旧復興ができること。さらに、北海道の強靱化計画に掲げる三つの目標、一つ目、生命財産と社会経済システムを守ること。二つ目、北海道の強みを生かし、国全体の強靱化に貢献すること。三つ目、持続的成長を促進すること。これら国や北海道の目標に配慮しつつ、網走市として四つの目標を掲げております。

網走市の目標ですけれども、一つ目、人命の保護が最大限に図られること。二つ目、市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化。三つ目、迅速な復旧復興。四つ目、市の持続的成長の促進の四つの目標を掲げております。

網走市強靱化のための施策プログラムの抜粋を御覧ください。

網走市強靱化計画では、当初、七つのカテゴリ、20の起きてはならない最悪の事態・リスクシナリオを考えておりましたが、今回の改定では、六つのカテゴリ、20のリスクシナリオとしました。改定でカテゴリが一つ減ったのは、当初カテゴリ内にありました二次災害抑制というカテゴリを経済活動の機能維持に吸収したものによるものです。

それでは、今回改定において設定したカテゴリについて御説明をします。一つ目、人命の保護。二つ目、救急活動等の迅速な実施、避難生活環境の確保。三つ目、行政機能の確保。四つ目、経済活動の機能維持。五つ目、情報通信網や電力等ライフライン、交通ネットワークの確保。六つ目、迅速な復旧復興としております。

網走市強靱化計画の施策プログラムの中から一部を抜粋しておりますので、御説明をさせていただきます。残念ながら都市整備課が担当する分野でない施策もかなり多く入っていることから、担当課ほど詳しく説明が難しいところもありますので、御了承願います。

それでは初めに、六つのカテゴリのうちのカテゴリ1、人命保護のうちリスクシナリオにつきましては、地震等による建築物等の大規模倒壊に伴う死傷者の発生というところで、住宅やその他建築物

の耐震化について定めております。指標といたしましては、多数の者が利用する建築物の耐震化率93.7%をおおむね解消することを目標としております。

次にカテゴリ2、救助救急活動等の迅速な実施や、避難生活環境の確保のうちのリスクシナリオといたしましては、2の2、被災地における保健医療福祉機能等の麻痺、大規模な自然災害と感染症との同時発生というところでは、災害規模に応じた適切な医療救助活動を実施するため、医師会、歯科医師団に対する派遣要請はもとより、災害救急時において、北海道に対して災害派遣医療チームの派遣を要請する等、災害支援体制の強化を推進することとしております。指標といたしましては被災地の医療支援に係る防災協定の件数について、現在3件ですけれども、それを維持することとしております。

少し飛びましてカテゴリ5、情報通信網や電力等ライフライン、交通ネットワークの確保のうちのリスクシナリオとしては5-3、上下水道施設の長期間にわたる機能停止では、下水道関連について抜粋をしております。指標といたしましては、ストックマネジメント改築計画の実施率を2024年20%から、2029年100%を目指すこととしております。また、くみ取りですとか単独浄化槽から合併浄化槽への設置を推進するため、合併浄化槽設置率を2019年の63.9%から2029年に70%を目指すことなどを指標としております。このほかに本編では、上水道の基幹管路耐震化率を2024年64%から2029年80%を目指すことなどが掲げられております。ほかにも各課より複数の指標が示されており、後ほど御確認のほうをお願いいたします。

最後に、各施策を推進するため担当課による事業名等を掲載させております。本計画を策定することで国からの重点事業に該当したり、交付金等を推進するために策定が推奨されていたりと、必要な計画となっているところでございます。

説明は以上となります。

**○石垣直樹委員長** ただいまの説明で質疑等ございませんか。

**○村椿敏章委員** 5年たって改定が必要だということだと思うのですが、この標準化というのはかなりお金がかかるところで、計画を立てたときに、裏づけとなる予算とか、そういうのというのは考えた上で、こういう計画を立てているのでしょうか。それとも、その部分ね、要は、国のほうは国の

ほうで強靱化計画を立てている。網走も立てましようという形としてはそうなっているのだろうけども、本当にこれができるのかっていうところが非常に疑問だなというふうに、思いました。

特に上下水道施設の長期間にわたる機能の停止というところの指標のところ、ストックマネジメント改築計画実施率が24年が20%までいっているけれども、あと5年で100%にしますというところは、非常に難しいのではないのかなと。ただ、その下の圧送管二条化整備率については22.6%から36.5と。これが計画している実際の数字なのかな、なんていうふうに印象を受けたのですよね。その点についてちょっとお聞かせいただけたらと思います。

**○村上雅彦都市整備課長** 強靱化計画につきましては、国を挙げて全国で強靱化に取り組ましようということで、国のほうも国土強靱化実施中期計画というものを立てております。その中にいろいろな各交付金事業ですとか補助事業のメニューも載っていて、それを使わせていただきながら、網走市のほうも強靱化に取り組んでいきたいというふうに考えているところでございます。

ストックマネジメントの改築計画等の実施率につきましては、すみません、なかなかいただいた数字で中身のほうが詳しくないのですが、多分計画を立てるのが100%になるということではないかなというふうに認識しているところなのではございますけれども、よろしいですか。

**○村椿敏章委員** 計画を立てるという部分が、この実施率だということか、ちょっと本当にね。ただ、下は整備率だし、あとはその下が設置率というふうに書いていますから、何か計画の実施率だから、計画を立てるというところなのかもしれないですね。わかりました。これも改築の整備率をどこまで持っていくんだというのも必要なのかなとは思いますが。

以上です。

**○石垣直樹委員長** そのほかございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、以上で総務経済委員会を終了いたします。

午前10時12分閉会